

「男女共同参画の視点に立った地域の課題解決」のためのプログラムデザイン

【事業名】 定年後も自分を生かそう！～シニア男性のための地域活動ナビ（2時間×3回講座）

（土日の午後に設定）

【趣旨】 男女共同参画を進めていくためには、広い年代の人々に男女共同参画を浸透させていくことが必要だが、最も男女共同参画を理解していない年代、50代以上のシニア男性に男女共同参画を広め浸透させていくことは、他の年代に対しても良い影響を与える。難しい層だからこそ、より男女共同参画を理解、実践していただけるような事業を提案する。料理、家事の実習も行いたい、コロナ禍で無理であるため、以下のような内容とする。

課題	役割分業意識が強い人が多いと予想されるため、男女共同参画を理解するまでに、時間がかかったり、難しい場合が多い。他の年代の人に対しても、たとえば、家庭と仕事の両立に理解がない、地域活動にヒエラルキーを持ち込むなど、悪い影響を与えるという課題がある。					
目的	50代以上の男性に、男女共同参画を理解していただき、地域活動でも女性や周囲の人々と対等な関係をもてるよう、男女共同参画を実践できる人に変化するよう促す。また同じ目的をもって活動する仲間づくり、団体結成を促すために3回連続講座として実施する。					
対象	50代以上の男性。定年退職している人を中心に、働いている人も参加可とする。	連携先	市内で活動するシニアの男性。男女平等センターの登録団体。シルバー人材センター。社会福祉協議会。			
目標	基点・基軸の形成			課題解決	振り返り	
	男女共同参画推進意識の形成	現状把握	課題把握・課題共有	課題解決の方策の検討	課題解決のための行動	
内容	<p>第1回 「いま、シニアに求められることとは」 *アイスブレイク 参加動機、これからやりたいことなど、自己紹介を行う。</p> <p>*講師の講義 現在の日本の社会問題を、男女共同参画の問題を中心に、研究者にわかりやすく講義していただく。 講義だけであると、飽きられるので、参加者一人につき1回は発言するよう促し、進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会全体 2. 家庭での不平等 3. いま、シニアに求められていることなど 	<p>第2回 「家庭でも地域でも、生き生き自分らしく」 前半 講師の講義 ・人との対等なコミュニケーションについて講義、ワークを行う。 (アサーティブトレーニング:家庭や地域での場面を設定)</p> <p>*男性の場合、他人の意見を傾聴することが苦手な場合が多いため、その観点でトレーニングを意識的に行うよう、講師に依頼しておく。</p>	<p>第2回 「家庭でも地域でも、生き生き自分らしく」 後半 講師の講義+グループワーク ・講師から、シニアの団体で男女共同参画や地域貢献の活動をしている事例を講義していただく。必ずその自治体内の団体も紹介する。 ・グループワーク 「考えてみよう、これから地域でやりたいこと」 *センタースタッフまたは市民企画運営委員で年代が近い方に各グループ1名ずつファシリテーターとして入っていただく。どの参加者も公平に発言できるように配慮し進行させる。</p>	<p>第3回 「地域に役立つ自分になる！」 前半 グループワーク 以下のお題で話し合い 1. 地域には、どんなニーズがあるか、自分の活動はどのようにしていきたいか。 2. 家庭ではどう生活していきたいか。</p>	<p>第3回 「地域に役立つ自分になる！」 後半 グループワーク とまとめ 自身がどのような活動をしたか、グループごとに話し合い、企画書を作成する。 グループごとの話し合いのあと、全体に対してのプレゼンテーションを行う。</p>	アンケート記入と、家からの実行の 報告をメールでいただく。可能な人は ローアット（1か月後に設定）の センターの登録団体として登録を勧める。また せを送り、さらに実行をサポーターする。また
方法	アイスブレイク・講義	講義・アサーティブトレーニング	グループワーク	グループワーク	個人ワーク、グループワーク、講師講評。	